

平成30年度事業計画書

テーマ：地域力のサポートを行うために、地域住民との連携強化を図り、介護、医療、保健、福祉のネットワーク体制を整える

サブテーマ：チームワークを高め、認知症高齢者への理解を深めて個別ケアを提供する

部署名：（認知症対応型通所介護）デイサービスセンターいこい・ほほえみ

取組目標	達成目標	具体的計画
専門性を深めチーム力を高める	①“その人らしさ”を重視したケアを提供する	<ul style="list-style-type: none"> ・「一人一得意」活動(個別の作業レク)を継続しながら、利用者一人一人の“できること”を探し、役割を持つことで、自信や生きがいにつなげられるよう支援する。 ・職員の入れ替わりが多く発生するがチームミーティングを継続し、ケアの質を高め、また職員の負担軽減を図りチーム力により、個別ケアに努める。
地域に開かれたデイサービス作り	①地域に、認知症介護の優良な資源として認識してもらえよう、取り組みを継続してする	<ul style="list-style-type: none"> ・「運営推進会議」を開催し、地域ニーズの把握と解決に努める。 ・社協主催の「あいあい祭り」や法人主催の「秋祭り」への出店等、いこいでの活動の成果を地域貢献活動に繋げる。 ・「認知症の人と家族の会」他、認知症高齢者や介護家族を支える外部

取組目標	達成目標	具体的計画
		の活動とも協力を図る。
認知症高齢者本人と介護家族の負担軽減につとめる	①ケアマネや地域と連携しながら可能な限り本人・家族の”辛さ”に寄り添う支援に努める	<p>・家族の希望に応じた送迎時間の調整ならびに送迎時の居宅内介護などの(消灯・消火の確認、荷物確認、施錠等)ニーズにも柔軟に対応。</p> <p>・早期受診の呼びかけ、坂井市徘徊SOSネットワークへの登録を呼びかけ、虐待が疑われる際の早期通報、その他、外部との連携強化を図りながら、常に本人と家族の立場に立った有益な情報発信、迅速かつ適切な対応に努める。</p>